

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		図書館運営			款	7	項	5	目	1	事業	7	整理番号	527		
担当部課名		教育委員会事務局中央図書館			係名	管理係			連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	616		枝番号	
上位施策No・施策名		63 図書館サービスの充実			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	25年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	4	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	5・6・7	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等 (1) 図書館法 (2) 子どもの読書活動の推進に関する法律									
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	図書館サービスの充実、子ども読書活動の推進、図書館システムの利便性の向上などにより、誰もが本と親しめる環境を整備し、区民の生涯学習と自立を支援する。										活動指標名(式)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	民との協働による図書館運営の推進、効果的な図書館サービスの提供を行う。 図書資料の購入や装備、各種事業を行う。 子どもの読書機会の提供と読書環境の充実を図る。 図書館システム安定稼働のため改修・更新を行う。 図書館ホームページ・インターネットパソコンによる情報発信及び情報提供を行う。										成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区民1人あたりの蔵書数 算定式・指標の説明等 蔵書数 ÷ 杉並区の人口(外国人登録を含む) 成果指標名(2) 区民1人あたりの貸出数 算定式・指標の説明等 個人貸出冊数 ÷ 杉並区の人口(外国人登録を含む)				
区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
		実績		計画		実績		計画		22年度						
指標	活動指標(1)	冊	2,136,182	2,200,000	2,166,751	2,210,000	2,243,359	2,250,000	2,260,000	99.3	101.5					
	活動指標(2)	冊	3,730,626	4,200,000	4,135,079	4,240,000	4,620,408	4,620,000	4,380,000	105.5	109.0					
	成果指標(1)	冊	4.02	4.10	4.04	4.12	4.16	4.17	4.17	99.8	101.0					
	成果指標(2)	冊	7.04	7.88	7.74	7.90	8.56	8.56	8.10	105.7	108.4					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	688,617	729,488	704,230	724,829	702,820	764,327	20年度予算執行率% 97.0							
	(内)投資的経費等	千円	3,954	3,773	3,593	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	千円	291,944	363,821	381,501	388,498	384,345	445,212								
	職員数(常勤 非常勤)	人	129.72 46.20	101.70 32.70	103.96 35.30	96.00 51.60	100.44 52.90	80.00 61.90								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	1,175,263	929,538	950,194	868,800	908,982	724,000							
		(内)非常勤職員分	千円	130,746	90,579	97,781	144,480	148,120	173,320							
	総事業費 + +	千円	1,994,626	1,749,605	1,752,205	1,738,109	1,759,922	1,661,647								
	単位あたりコスト (-) ÷	円	932	794	807	786	785	739								
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	千円													
		その他の補助金等	千円													
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -	千円	1,994,626	1,749,605	1,752,205	1,738,109	1,759,922	1,661,647									
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 527

		内 容	規模	単位	事業費(千円)	
20年度の事業実施状況	(1)主な取組み  (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	図書館資料購入・装備	13	館	216,503	
		運営管理(業務委託4館を含む)	11	館	179,360	
		指定管理による運営	2	館	109,833	
		図書館システム管理(図書サービスコーナー等含む)	16	施設	138,426	
		その他( 情報環境の提供、ブックスタート、子ども読書活動推進ほか )			58,698	
(2)事業実績	すべての図書館において経営評価・利用者満足度調査を実施し、図書館サービスの成果や達成度を明らかにするとともに、効率的・効果的な図書館運営と創意工夫による図書館づくりの一層の推進を図りました。また、図書館ホームページの機能の改修、利用者インターネットパソコンの運営やデータベースを活用した情報の提供などを行い、情報化時代に対応した図書館サービスを提供しました。子ども読書活動推進計画に基づき、学校への総合的な支援を行いました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和25年の区立図書館設置から、現在は13館が整備され、他にもサービスコーナーやふれあい図書室など計17施設で図書館サービスを提供しています。また、各施設の運営形態も、直営、委託、指定管理、ボランティアによる運営など様々な形態となっています。サービス面では、平成18年度末の新図書館システム稼働に合わせ、利用カードの更新制度の導入、貸出冊数増、利用者用インターネットパソコン設置、ペーパーレス化などサービスの充実や利便性の向上を図っています。				
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	蔵書及び予約・リクエストの充実、図書館システムの利便性の向上に関する意見が寄せられています。				
	今後の予測	図書館サービスの向上をめざして新しい図書館システムを導入しましたが、利用者のIT機器を使ったサービスの充実に対する要望は、ますます高くなっています。引き続き、図書資料の収集の充実を図るとともに、DVD等の収集、インターネットパソコンを利用した情報検索の場やデータベースの提供などについても充実していきます。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	左の理由または具体的内容 「教育立区」を目指す杉並区として、地域の生涯学習の基盤となる図書館の役割は大きく、その運営において、蔵書の整備や様々なサービスを提供することは、読書活動の推進や地域の課題解決の一助ともなります。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	図書館サービスのうち、民との協働により充実した事業を行うことが可能です。また、指定管理者による運営の中でも民間のノウハウを生かした創意工夫によるサービス提供が可能です。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	図書館法第17条の規定により、区立図書館利用は無料となっています。ただし、講演・講座など一部事業によっては、実費負担の可能性は検討すべき課題です。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[民営化・外部委託化]( 具体的内容 )	図書館業務の運営委託や指定管理者制度の活用、非常勤職員の活用により、コストの抑制は可能です。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(3)へ				
	(3) 協働等の形態 委託[業務量の50%未満に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進				
評価と課題	今川図書館の開館や高円寺駅前図書サービスコーナーの開設、1回の貸出限度冊数の増、新図書館システムの導入による資料検索機能・リクエスト機能の充実などにより、貸出数は順調に増加しています。今後とも、図書館ホームページや図書館システムの活用に関して寄せられる様々な要望等を踏まえ、更なるシステムの改修・改善を図るとともに、区民の生涯学習ニーズに的確に対応するため、関連する資料の収集や講演会の開催、レファレンスサービスの充実などに取り組んでいきます。					

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 平成19年度より導入した指定管理者制度及び運営業務委託により、コストの抑制や独自性を持った事業の展開を推進しました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どういつかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 図書館の基本方針に基づき、民との協働による個性ある図書館づくりを進め、昨年度は、全ての図書館で経営評価を実施しました。また、第4次行政改革実施プラン及び杉並改革総点検結果報告に基づき、この経営評価を踏まえ地域図書館の運営の検証と今後のあり方について検討しました。その結果、地域図書館については平成22・23年度で全館指定管理とします。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 指定管理者による地域図書館運営の推進に合わせ、図書館サービスにおける区の役割の明確化を図るとともに図書館サービスが円滑に実施できるよう、中央図書館の図書館サービスの企画・統括・総合調整機能の強化、組織の再構築を行っていきます。		
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 地域図書館への指定管理の新たな導入により、指定管理に要する事業費(委託料)は増加しますが、区職員の人件費は縮減されるため、予算全体では減となります。	

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		図書館施設維持管理		款	7	項	5	目	2	事業	2	整理番号	534		
担当部課名		教育委員会事務局中央図書館		係名	管理係			連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	617		枝番号	
上位施策No・施策名		63 図書館サービスの充実		予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	27年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 図書館利用者及び団体(学校、保育園、ゆうゆう館など)			根拠法令等		(1) 図書館法 (2)								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	図書館利用者等に、安全で快適な施設利用環境を提供する。			活動指標名(式)		(1) 開館日数(全館累計) (2) 利用者数(全館累計)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	施設の適正な維持管理を行い、図書館利用者等の安全性及び利便性の向上を図る。			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) 1日あたりの維持管理経費 算定式・指標の説明等 維持管理経費 ÷ 開館日数 成果指標名(2) 利用者1人あたりの維持管理経費 算定式・指標の説明等 維持管理経費 ÷ 利用者数(入館者数)								
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度	目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績		計画		実績		計画	22年度					
指標	活動指標(1)		日	3,886	4,073	4,064	4,295	4,308	4,328	4,298	100.2	100.3			
	活動指標(2)		人	2,646,913	2,852,000	2,576,955	3,006,000	2,821,589	3,017,000	3,027,000	93.2	93.9			
	成果指標(1)		円	52,318	51,673	44,974	51,035	43,657	47,633	51,000	85.6	85.5			
	成果指標(2)		円	78	74	72	77	67	68	70	95.3	86.4			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	639,002	719,221	635,980	191,897	188,075	206,154	20年度予算執行率% 98.0					
	(内) 投資的経費等		千円	376,865	410,478	406,941	0	1,354	0	特記事項					
	(内) 委託費		千円	507,932	595,303	118,094	111,879	108,331	126,880	事業費の減は、平成18・19年度に、地域図書館の大規模改修、今川図書館の新設工事に伴う投資的経費が増えていたことによるものです。					
	職員数(常勤 非常勤)		人	9.74   0.80	9.30   0.80	8.02   1.20	4.00   1.20	4.10   0.00	4.00   0.00						
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	千円	88,244	85,002	73,303	36,200	37,105	36,200						
		(内) 非常勤職員分	千円	2,264	2,216	3,324	3,360	0	0						
	総事業費 + +		千円	729,510	806,439	712,607	231,457	225,180	242,354						
	単位あたりコスト (-) ÷		円	90,748	97,216	75,213	53,890	51,956	55,997						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0				0		
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0				0		
都からの補助金等		千円													
その他の補助金等		千円													
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引: 一般財源 -		千円	729,510	806,439	712,607	231,457	225,180	242,354							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 534

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		(1)主な取組み	(細)設備保守管理委託	11
(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	(細)光熱水費	11	館	63,387
	(細)施設維持管理費	12	館	15,501
	(細)事務用機器類	11	館	1,394
	その他( )			0
(2)事業実績	昨年12月に今川図書館が開設したため、本年度は、この今川図書館分の年間維持管理経費が増加しています。総額で比較するとH19は182,773千円、H20は188,071千円で、5,297千円(2,89%)の増であり、予算執行率も98.0%と、概ね適正に執行できました。なお、年間を通して施設、設備の不具合により図書館が休館するような事態はありませんでした。			

事業開始当初から現在までの変化	区内に14館の図書館を整備するという図書館整備方針に基づき、事業開始から現在までに13館が建設されました。また、図書館利用者の利便性向上の観点から、平成17年度からは区立図書館の通年開館化を図り、休館日を毎月2日としたため、開館日が増え、当該事業の重要性は増えています。
事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設の老朽化による施設の使い勝手の悪さに関する要望や、閲覧席・学習室等の設置希望、バリアフリーの観点からの昇降機や段差の解消、空調機やOA機器等の機械設備・建物設備に関する改善要望が出されています。
今後の予測	高齢化の進展にともない今後とも高齢者の利用が増加していくものと想定されます。また、CDやDVDなどの視聴覚資料やICタグを利用したサービスなども期待されています。利用者からの要望・苦情なども踏まえ、計画的な改修計画や施設・設備の有効活用策を検討することが必要です。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	施設維持管理を適正に行うことにより、安心・快適な図書館サービスが可能となり、「生涯現役の地域社会を支える図書館づくり」への貢献度は大きいものとなっています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	今後老朽化が進む施設を同等に維持するためには、更なる経費が必要となります。利用者からの要望・苦情や老朽化に伴う計画的な修繕なども含め、施設・設備の改修等による有効活用策を策定していきます。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	公共図書館には、図書館法第17条による図書館利用の無料規定があるため。
(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	指定管理者制度を活用することにより、経費の効率化を図ることができます。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(3)へ
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題	図書館経営評価を実施し、施設の維持管理に関して、自己評価4項目、利用者満足度調査2項目の評価を行いました。すべての図書館で、自己評価・利用者満足度調査ともに一定の評価をいただき、適正な施設維持管理を行っていることが確認されました。図書館13館中6館は、築20年以上であり、施設の老朽化が進んでいます。施設の維持管理経費をこれ以上縮減することは難しく、今後、基本計画・実施計画に位置づけて、計画的な改修・改築を行っていくことが必要です。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	前年度には、全館で図書館経営評価を実施し、施設の維持管理に関しても、自己評価4項目、利用者満足度調査2項目の評価を行いました。すべての図書館で、自己評価・利用者満足度調査ともに一定の評価をいただき、適正な施設維持管理を行っていることが確認されました。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	図書館利用者にとって、快適で安心して利用できる施設とするため、今後も適正な施設維持管理を行っていきます。また、利用者の意見を反映するため、利用者満足度調査の自由意見欄なども活用していきます。							
	(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	13館中6館は、築20年以上であり、施設の老朽化が進んでいます。今後、基本計画・実施計画に位置づけて、計画的な改修・改築を行っていきます。							
22年度方針	(1) 22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由	現在の計画の中では、新しい施設の建設や大規模改修は計画されていません。現行の施設を、快適かつ安全に運営するため、更に光熱水費の節減に努めるとともに、必要な修繕や維持管理を計画的に行っていきます。							